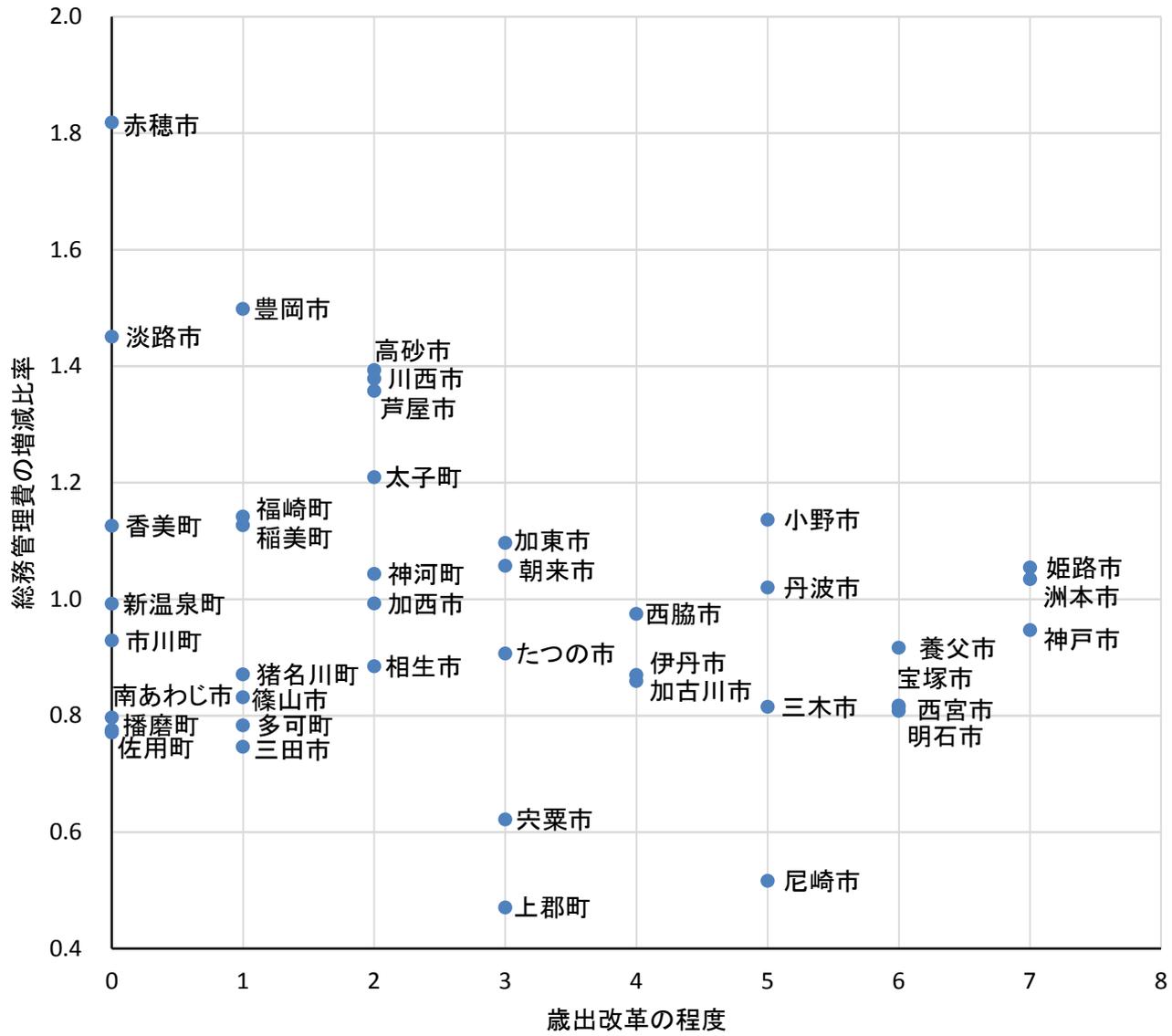


兵庫県の見える化(歳出改革の地域差の「見える化」)

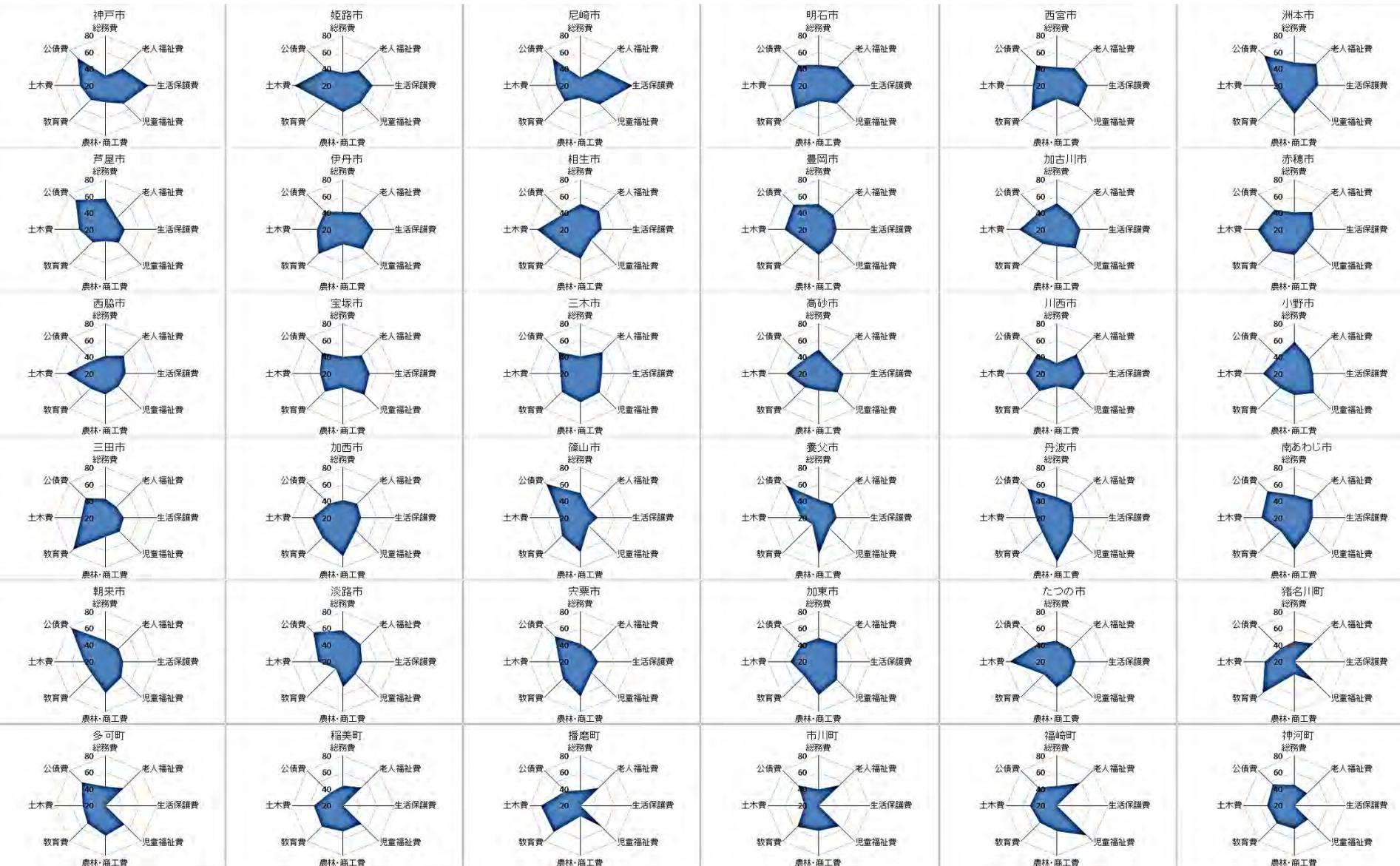
歳出改革の程度 × 総務管理費の増減比率 (H23~25/H19~21)



(注) 図の意味は前頁を参照。個々の自治体における「総務管理費の増減比率」を「歳出改革の程度」だけで評価するものではない。

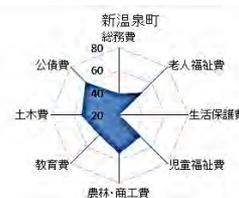
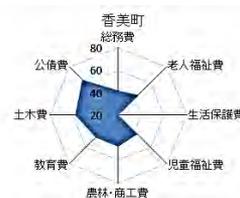
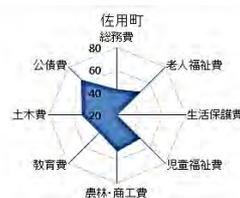
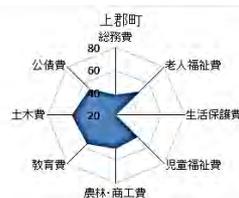
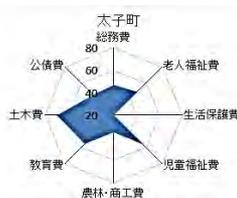
兵庫県の見える化(市区町村毎の一般財源等の使途)

兵庫県の見える化(1/2)



兵庫県の見える化(市区町村毎の一般財源等の使途)

■兵庫県(2/2)

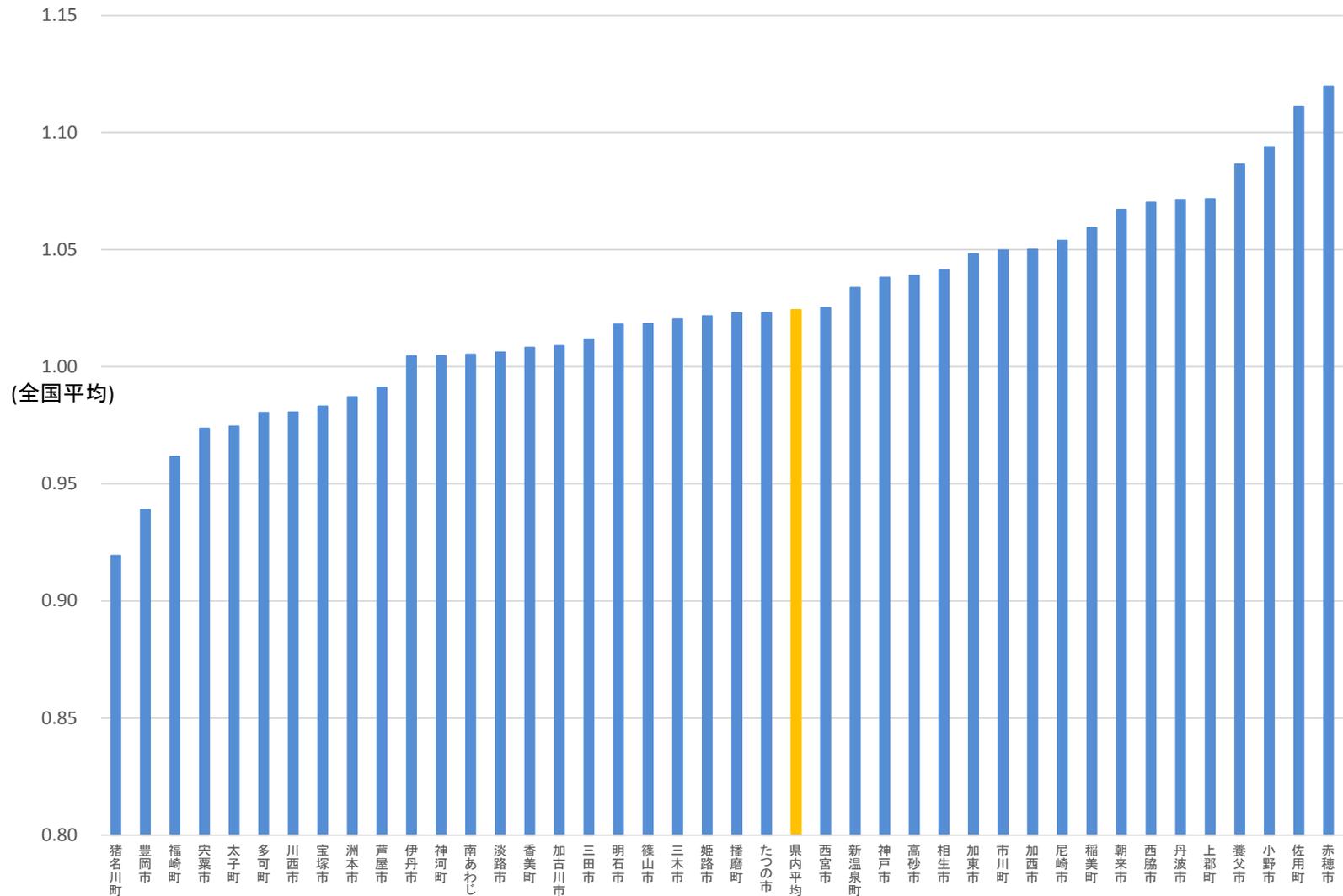


(備考)

- ・「財政状況資料集」(各市区町村)、総務省自治財政局「市町村別決算状況調」をもとに作成。
- ・ 充当率は、平成23年度から平成25年度の目的別歳出各費目における充当一般財源等の金額が全費目の歳出合計に占める割合を算出し、3か年の割合を平均している。
- ・ ただし、老人福祉費、生活保護費、児童福祉費は、充当一般財源等の代わりとして、各費目の歳出額から国庫支出金及び都道府県支出金を除いた金額を使用している。
- ・ 市区のレーダーチャートは、全都道府県下の市区の平均値を50として、各々の充当率を偏差値化して表示している(町村のレーダーチャートも同様の手順で作成)。青部分が大きいほど、該当費目への一般財源等の充当率が相対的に高い。
- ・ 町村のレーダーチャートでは生活保護費のみ偏差値化していない

兵庫県の見える化(医療費の地域差)

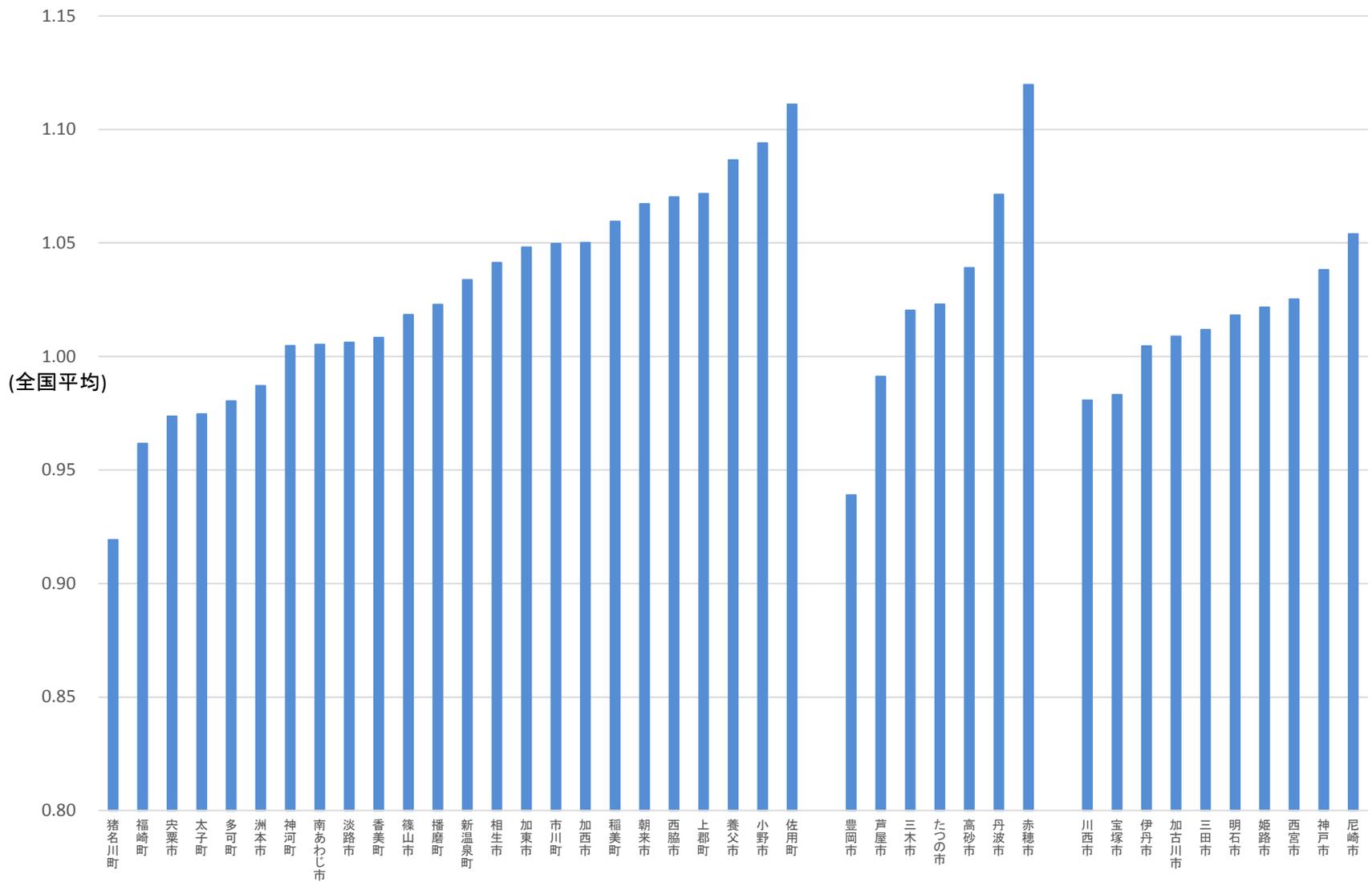
一人当たり医療費の地域差指数(H25):年齢補正後・市町村国保



(注)「一人当たり医療費の地域差指数」とは、当該地域の1人当たり医療費について人口の年齢構成の相違による影響を補正し、指数化(全国平均=1)したものの。市町村の地域差指数は、「当該地域の1人当たり医療費/仮に当該地域の年齢階級別1人当たり医療費が全国平均と同じだったとした場合の1人当たり医療費」として計算(原出所は厚生労働省「医療費の地域差分析」)。

兵庫県の見える化(医療費の地域差)

一人当たり医療費の地域差指数(H25):年齢補正後・市町村国保



人口

~5万人

5万人~10万人

10万人~